

会長あいさつ

この度は一般社団法人東京都文京区歯科医師会のホームページをご覧いただき誠にありがとうございます。

令和6年（2024年）6月29日に行われた第13回定時総会において、第39代会長に就任いたしました谷田部優です。前任の三羽敏夫会長が8年の長きにわたり築き上げられた基盤を引き継ぎ、さらなる発展を目指して尽力してまいります。



文京区歯科医師会は、大正9年（1920年）に東京市歯科医師会の本郷支部として設立された後、昭和22年（1947年）に社団法人東京都文京区歯科医師会となりました。その後、平成24年（2012年）には、公益性の高い現在の一般社団法人東京都文京区歯科医師会となり、本年度で創立77年を迎えました。現在90名の会員がおり、主に文京区の本郷エリアで開業している歯科医師と病院に勤務されている歯科医師から構成されております。

文京区には小石川歯科医師会と文京区歯科医師会がありますが、文京区の行政機関とともに区民の歯と口の健康づくりのために様々な活動を行っております。

主な事業としては、母親学級、妊婦歯周疾患検診、一歳半健診、三歳児健診、歯科相談、保育園歯科健診、学校歯科保健活動、20歳から86歳までの歯周疾患検診など、それぞれの年代で、ほぼまんべんなく歯の健康を維持できる環境づくりに努めております。また、障害者歯科治療や在宅療養者等歯科訪問健診・予防相談指導など一般開業医では治療が難しい方への対応や相談も行っております。その他にも一般の方々を対象とした口腔衛生の普及啓発活動にも力を入れております。

また、文京区には多くの大学病院、都立病院があり、文京区歯科医師会の会員はそれぞれの病院と医療連携を取っており、安心して歯科医療を受けられる体制を整えております。さらに文京区の医師会や薬剤師会との連携も密に取れており、協力体制も大変充実している会であると自負しております。

歯は、美味しく食べ、楽しく会話するために欠かせない器官であるばかりでなく、全身の健康とも関わっているとされています。歯が痛くなって、あるいは歯を失って初めてその大切さに気づくことが少なくありません。我々歯科医師会会員は、これからもますます会の活動を充実、発展させ、地域の皆様のお口の健康を守るために、多くの情報を発信できるようにこのホームページも充実させていく所存です。これからも文京区歯科医師会が行ってい

る活動へのご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。